

## 筑豊地域 H30年度活動実績

直方市、飯塚市、田川市、宮若市、嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町  
： 計25名(報告24名)

### 1 啓発活動、相談対応等

#### (1)地域イベントでの啓発

活動日	イベント名	開催地域	活動内容	参加者数 (イベント全体)	啓発者数 (ブース等)	推進員 (所属)	備考
○祭り等のイベント							
H30.4.8 (日)	2018油木ダムウォーキング大会		大会参加者及び地域住民へ環境意識向上啓発活動を実施	429	429	添田町	
H30.5.9 (水)	緑のカーテン大作戦 (ゴーヤの種まき)	飯塚市	5月の環境会議の前にメンバーと市役所の環境課の方々とゴーヤの種まき	20	20	飯塚市	
H30.6.2 (土)	緑のカーテン大作戦 (ゴーヤ植え付け会)	飯塚市	グリーンカーテンづくり 飯塚市役所にてゴーヤの苗を植え付け、その後、参加者に苗を配布。	200	200	飯塚市	飯塚市役所にて実施
H30.7.24 (火)	打ち水大作戦	田川市	・打ち水後、路面の温度と気温を測定。 ・エコファミリー募集		80	田川市 福智町 福智町	路面の温度は下がったが、気温は上がった。
H30.8.1 (水)	打ち水大作戦 in いいづか	飯塚市	17:00より新飯塚駅前に打ち水。気温の変化など検。	87	87	飯塚市	
H30.8.2 (木)	打ち水大作戦	嘉麻市	保育所で打ち水実施		66	嘉麻市 嘉麻市	
H30.8.5 (日)	打ち水大作戦 in いいづか 新飯塚駅前	飯塚市	みんなで打ち水を実施、どのくらい気温が下がったかを計測した	87	87	飯塚市	
H30.8.9 (木)	打ち水大作戦	直方市	新生第一保育園で打ち水大会	30	30	直方市	
H30.8.13 (月)	打ち水大作戦	桂川町	桂川町東小学校学童保育所にて打ち水大作戦	41	41	桂川町	
H30.8.16 (木)	クールシェアいいづか	飯塚市	個々の家庭の冷房を切って一箇所にあり、省エネを目指そうという取り組み(パネルクイズ、エコバッグ作り、エコファミリー登録依頼)(昨年は3日間実施したが、今年は1日のみ、2時間だけの実施となった)	26	26	飯塚市 飯塚市 飯塚市	
H30.8.16 (木) H30.8.17 (金)	街なかオアシス	飯塚市	うちエコ診断を実施	6	6	飯塚市	
H30.11.3 (土)	コールドメインフェスティバル	田川市	・地球温暖化のパネル展示 ・エコファミリー募集、環境家計簿の説明	7,000	50	田川市 川崎町	
H30.11.4 (日)	エコ工房まつり	飯塚市	・昨年の反省を生かし、パネルで勉強してオリジナルエコバッグを作るようにした。新たに少し大きめのマチ付きのエコバッグにしたところ、大人の方々に好評だった。 ・うちエコ診断を実施した。	747	66	飯塚市 飯塚市 飯塚市 飯塚市	マイバッグ作り57件、うちエコ診断9件
H30.11.4 (日)	福智町文化祭	福智町	・エコファミリー募集 ・クイズ ・LED、白熱電球 発電体験	500	150	福智町 福智町 田川市	
H30.11.10 (土)	嘉麻ふれあい祭り2018	嘉麻市	省エネクイズ	3,000	200	嘉麻市 嘉麻市 嘉麻市	
H30.11.11 (日)	香春町ふるさと秋祭り	香春町	秋祭り開催会場のブースを借りて出展。来場者に対し、環境パネル(エコトファミリーの「減CO2げんこつ大作戦」)とクイズを実施。エコファミリーのチラシを配布し、エコファミリー登録を呼びかけた。	500	128	香春町	
H30.12.8 (土)	キャンドルナイト	飯塚市	・読み聞かせ紙芝居「地球温暖化ってなあに？」 ・廃ろうそくを利用したエコキャンドル作り ・マリンバの演奏	80	80	飯塚市	

H31.2.9 (土)	エコスタいいづか	飯塚市	環境保全団体の発表と、各団体による体験コーナー(パネル展示、エコバッグ配布、エコファミリーの勧誘)	700	70	飯塚市 田川市 小竹町 福智町	例年とは異なり、開催場所を屋内に変更
H31.3.24 (日)	春の自然観察会	飯塚市	鳥羽公園散策(草花、樹木、鳥の観察)		30	福智町	
H31.3.24 (日)	環境保全セミナー	飯塚市	山村塾の取り組み 環境保全の課題と成果、交流		30	福智町	
合計	イベント数:20			参加者数: 13,453名	啓発者数: 1,876名		

## (2)出前講座・学習会での講演等

活動日	場所	開催地域	講座名・講座内容	受講対象者	受講者数	推進員 (所属)	備考
○保育所							
H30.7.18 (水)	鎮西光保育園	飯塚市	オリジナルパワーポイント教材を使用して、温暖化防止・環境保全の啓発、リサイクル工作物の紹介	園児、職員	54	飯塚市	
H30.7.18 (水)	平恒保育所	飯塚市	オリジナルパワーポイント教材を使用して、温暖化防止・環境保全の啓発、リサイクル工作物の紹介	園児、職員	65	飯塚市	
H30.9.27 (木)	菊池保育園	大刀洗町	3世代エコ出前講座		30	飯塚市	
H30.10.18 (木)	金田保育園	福智町	出前講座(水タワー、紙芝居、クイズ)	園児(年長、年中)	53	福智町	
H30.10.19 (金)	神崎保育園	福智町	出前講座(旬の食べ物、紙芝居)	園児(年長、年中)	80	福智町	
H30.11.27 (火)	こばと保育園	川崎町	エコ出前講座 「昔の暮らし、今の暮らし」パネルシアター 「エコトンの地球がたいへん」紙芝居の読み聞かせ	園児	50	川崎町	
H30.11.28 (水)	すみれ保育園	川崎町	エコ出前講座 「旬の野菜」パネルクイズ 「エコトンの地球がたいへん」紙芝居の読み聞かせ	園児	100	川崎町	
H30.12.6 (木)	愛宕幼稚園	飯塚市	オリジナルパワーポイント教材を使用して、温暖化防止・環境保全の啓発、リサイクル工作物(牛乳パックじゃんけんサイコロ)の作成指導	園児、職員	84	飯塚市	
H30.12.12 (水)	勾金保育所	香春町	出前講座(旬の野菜、エコトン記念撮影)	園児(年長、年中)	40	福智町	
H30.12.13 (木)	香春保育所	香春町	出前講座(エコトンに質問、そして遊ぶ)	園児(年長、年中)	40	福智町	
H31.2.20 (水)	顚田こども園	飯塚市	オリジナルパワーポイント教材を使用して、温暖化防止・環境保全の啓発、リサイクル工作物の紹介	園児、職員	175	飯塚市	
○学校							
H30.7.12 (木)	鯉田小学校	飯塚市	IPCC資料及びオリジナルパワーポイント教材を使用して、温暖化防止・環境保全の啓発、アクリル毛糸たわし作り指導	児童、職員	31	飯塚市	
H30.8.23 (木)	上山田小学校	嘉麻市	紙の話や環境の話		80	飯塚市	

○学童保育							
H30.7.27 (金)	上山田小学校学童保育	嘉麻市	省エネ(エコ)について	小学1～6年生	60	飯塚市	
H30.7.30 (月)	嘉穂第二学童保育	嘉麻市	キャンドル作りを終えた後、節電やキャンドルナイトの話をを行った		45	飯塚市	
H30.7.31 (火)	下山田小学校学童保育	嘉麻市	エコってなんだろう？ ・地球温暖化について ・エコの図の利用 ・LEDのすばらしさについて	小学1～6年生	24	飯塚市	
H30.8.3 (金)	稲築東小学童保育	嘉麻市	エコってなんだろう？ ・地球温暖化について ・エコの図の利用 ・LEDのすばらしさについて	小学1～3年生	41	飯塚市	
H30.8.17 (金)	嘉穂第二学童保育	嘉麻市	エコってなんだろう？ ・地球温暖化について ・エコの図の利用 ・LEDのすばらしさについて	小学1～6年生	37	飯塚市	
H30.12.27 (木)	桂川町東小学校学童保育所	桂川町	地球の環境、地球温暖化の現状	児童	32	桂川町	
○公民館等							
H30.8.3 (金)	月隈公民館	福岡市	環境紙芝居		60	飯塚市	エフコープの出前講座に同行
H31.1.22 (火)	福智町	福智町	市場ふれあい交流、安全な食品(自家菜園、食品ロス)	高齢者交流会員	25	福智町	
○その他							
H30.9.15 (土)	たがわ21女性会議		「温暖化現象と私たちにできる防止活動」		20	飯塚市	
合計	講座数:22件			受講者数:1,226名			

### (3)住民からの相談対応等

年間相談対応件数 (うち「うちエコ診断」の数)	主な相談・助言内容	備考	推進員 (所属)
6件	エコファミリーの報告について、勧誘する際に説明してはいたが、いざ報告する際にもう一度確認というように相談を受けることが多かった。 また、冷蔵庫の買い替えについての相談も受けた。		飯塚市
17件 (うちエコ診断 16件)	エフコープ志免支所より、エフコープが行うイベントでの子どもたちへの環境学習について相談があり、アドバイス・資材の案内などを行った。		飯塚市
3件	エコファミリー取組内容についての問い合わせに対応、チラシを渡して具体的な説明を行った。		宮若市
1件	野焼き→条例違反につき警察に通報する方法が今のところ最良である。 (市役所、消防署ではきちんとした指導しかできないので、とのことでした。)		宮若市
2件	エコ診断の申込みに伴う手続きについての相談		大任町
【合計】相談対応:13件 うちエコ診断:16件			

(4)その他の啓発活動(広報誌への記事投稿等)

・遠賀川地域防災施設にて 夏のゴーヤカーテン(6月～9月) ペットボトルデポジット制(年間を通して約200本) エアコンの調節 ゴミの持ち帰りを推進 毎月最終日曜日に遠賀川周辺清掃活動 環境カレンダー作成	直方市
・飯塚環境会議の部会(ゴミゼロ部会)での活動として、各自治体公民館のいきいきサロン等で、ゴミ分別ゲームの開催を通して、ゴミ減量、リサイクル、エコの推進をしている。	飯塚市
・10/14 遠賀川フェスタにて遠賀川清掃活動と水生生物観察会補助	飯塚市
・2ヶ所の保育所へ出前講座を予定していたが、天候が悪かったり、保育所の行事を重なったりして、次年度に持越しとなった。 ・6/20 町内の清掃を実施(近所の方に声かけして参加してもらった)。	田川市
・自治会の役員会にて、エコファミリーのチラシを配布、登録を呼びかけた。 ・市内のお寺での活動時に、エコファミリーのチラシを配布、登録を呼びかけた。	宮若市
・エコファミリー募集のため、資料を職員全員に配布、説明会を実施 ・エコファミリー募集のポスター、チラシを当センターロビーに掲示 ・「エコライフのすすめ」職員全員に配布 ・「環境白書」職員に回覧及びロビーに設置	小竹町
・食品ロスをなくすため、食事会や宴会時には30・10運動などで、食べ物を残さず完食するようすすめている。	桂川町
・11/23 清掃活動「今川サイクリングロード・クリーン作戦」参加 ・1/17 今川流域河川敷に河川環境保護啓発看板の設置	添田町
・毎月の地域での古紙回収	川崎町
・年に1回遠賀川水系彦山川水辺公園のごみ拾い等の清掃活動を行っている	大任町
・10/14 飯塚市にてエコチラシ配布、遠賀川フェスタ参加、遠賀川河川敷清掃 ・当該地区各種団体などにチラシ配布のうえ啓発	福智町

2 会議・研修会等への参加

(1)県・福岡県地球温暖化防止活動推進センター主催研修会

	6/11 研修会	9/28 研修会
出席者合計 (回答者21名)	5名	7名

(2)地域推進員連絡会 ※北九州・京築地区及び筑豊地区は2回開催

	1回目	2回目
出席者合計 (回答者22名)	8名	12名

### (3)市町村との会議・打ち合わせ・面談等

開催日	場所	開催地域	会議等名称	主な参加者	内容	推進員 (所属)	備考
○会議等							
H30.3.26 (月)	川崎町役場会議室	川崎町	環境審議委員会	環境課職員、審議委員、推進員	町の環境政策の進捗状況の審議	川崎町	
毎月第2水曜日	飯塚市庁舎	飯塚市	いづつか環境会議	飯塚市環境課と市民の皆さん	・ゴーヤの種まき、植え付け ・打ち水 ・町なかオアシス ・エコスタいづつか 等	飯塚市	
H31.2.19 (火)	飯塚総合庁舎 会議室	飯塚市	平成30年度筑豊地区地域環境協議会	筑豊地区5市10町の環境関係者、県の事務所関係者と推進員リーダー等30名	・平成30年度取組状況 ・平成31年度協議会について ・研修「官民一体型食品廃棄物地域循環圏形成サービス「メリーズシステム」の紹介」	飯塚市	
○イベント等の打ち合わせ							
H30.6.20 (水) H30.8.2 (木) H30.10	推進員事務所	福智町	イベント、出前講座の打ち合わせ	福智町推進員、役場職員	イベント、出前講座の打ち合わせ	福智町	
	エコ工房	飯塚市	月例打ち合わせ	環境整備課職員	エコ工房にて開催の環境学習教室等に関する打ち合わせ	飯塚市	

### (4)その他の会議・セミナー・研修等

開催日	場所	開催地域	会議等名称	主催者	内容	推進員 (所属)	備考
○セミナー、研修会等							
H30.8.5 (日)	遠賀川水辺館	直方市	持続可能な開発目標(SDGs)の達成を考えてみる	遠賀川流域子ども水フォーラム実行委員会	第8回世界水フォーラムブラジル大会に参加した若者たちと通訳の先生の報告会、自分のテーマを考えて、持続可能な遠賀川を考えてみる	直方市	
H30.9	環境学習参加		出前講座	田川ふるさと川づくり交流会	水環境、汚染、ごみ、エコ等の講座、実験等	福智町	
H30.10.12 (金)	西日本総合展示場	北九州市	エコテクノ2018	九州経済産業局、福岡県 他	省エネ強化、温暖化対策、防災BCP、コージェネの最新動向	宮若市	
H30.11.21 (水)	田川市いいかね学園	田川市		田川市環境課	「環境づくり」 ・ふれあい収支事業 ・資源回収事業 ・浄化槽整備事業	田川市	
○推進員打ち合わせ、会議等							
H30.6.19 (火) H30.8.28 (火) H31.1.16 (水)	県保健福祉環境事務所 会議室	飯塚市	リーダー会	筑豊地区推進員	「地区の全員で活動できるようにイベントを実施してほしい」旨の要望があり、リーダーだけで会合を実施。「エコスタいづかに同乗させていただくのがよいのでは」ということになり、飯塚市環境課にお願いした。	飯塚市 飯塚市 田川市 小竹町 桂川町	
H30.5.15 (火)			平成30年度田川市郡の活動計画打ち合わせ		・飯塚市で行われているエコスタに加えてもらえないか。 ・推進員全員で大木町に見学したかどうか。 ・市郡の催しは例年通りに参加したい。	田川市 福智町	推進員5名参加
H30.6.1 (金)	推進員の事務所	福智町	筑豊ブロック合同事業と福智町の予定	管内と田川推進員	筑豊・田川ブロック事業、計画書作成	福智町	

### 3 自らの日常生活における温暖化防止取組の実施状況

#### (1)エコファミリー・環境家計簿の取組

	エコファミリー登録	エコ活動報告 (上期)	エコ活動報告 (下期)	環境家計簿記録・報告 (上期)	環境家計簿記録・報告 (下期)
取組み実施者 (回答者21名)	11名 57.1%	6名 33.3%	6名 28.6%	6名 28.6%	6名 19.0%

#### (2)その他の実践例（日常生活で自ら実践している事例）

<p>・子どもたちの環境に対する敏感さ、生き物に対する好奇心、常識にとらわれない感性は、大人では到底及ばないものです。それは、社会の縮図でもあるのではないのでしょうか。子どもや若者の声に耳を傾けることで、社会もまた成長してゆくということです。大人から子ども・若者への一方通行だけでなく、子ども・若者と大人の双方向のパートナーシップが、日本の、そして世界の川づくりの未来を切り開くのではないのでしょうか。この度の閣僚級会議で採択された閣僚宣言の中で謳われたアクションの一つに、次世代についての記述があります。「水と衛生問題を解決するうえで変化・刷新のエージェントとしての若い世代の可能性を促進すること、水教育政策と水・衛生分野のベストプラクティスを実施し共有すること」若い世代を社会変革の担い手として捉えるという考え方は、ユネスコが主導する「持続可能な開発のための教育(ESD)」を支える基本的な理念でもあります。ESDとは、世界の諸問題を自分の問題として捉えることで一人一人が解決を目指すという教育的なアプローチです。水辺館で行われている河川の環境教育は、若い世代が変革の担い手となる可能性を最大限に伸ばそうという試みであるという意味で、ESDの実践にほかなりません。そしてこのESDは、2015年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs、2030アジェンダ)」への有効なアプローチとして期待が高まっています。この度、地球の裏側のブラジルにて、春の小川で繰り広げられる地域の活動が、世界の大きな流れにしっかりと結びついていることを肌で感じる事ができました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみは堆肥化する</li> <li>・こまめに電気を切る、節電を心がける</li> <li>・エコクッキング</li> <li>・エコドライブ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅にダンボールコンポストを設置。</li> <li>・ゴーヤを育てて、夏はグリーンカーテンとなるように、また南側の庭に緑の木々を植えている。</li> <li>・節電に努めている。寝る前に電源を切り、待機電力もできるだけなくすように心がけている。</li> <li>・公共交通機関の利用、歩くことを心がけている。</li> <li>・自動車を運転するときはエコドライブを心がけている。</li> <li>・エコバッグの活用</li> <li>・ごみの分別とリサイクル活動</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコバッグを常に持参する。</li> <li>・日々の省エネ実践</li> <li>・ゴーヤの日除け</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅近くの道路のゴミと草取りを習慣的に行っている。</li> <li>・外出のときは不必要なコンセントを抜く。</li> <li>・雨水を溜め、花や洗濯などに使用。</li> <li>・買い物には必ずエコバッグを持参する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅の照明をLEDに交換。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電の設置(14年前から)</li> <li>・花、野菜などへの水やりは、雨水を溜めて使用(金魚などを飼ってボウフラの発生防止)</li> <li>・残飯などはコンポストによって肥料にしている</li> <li>・庭木などの枝葉は、粉碎して肥料にしている</li> <li>・温水ボイラーの温度設定は80度になっている</li> <li>・家の南側にはぶどうやキウイフルーツを植え、夏場の省エネを実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の暖房は使用しない(こたつ使用)</li> <li>・夏の冷房温度は27℃以上に設定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の美化運動に参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場(学童保育)でゴーヤとアサガオを育て、夏はグリーンカーテンとしても活用している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅や携帯で使用電力が分かるようなシステムを設置している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅にコンポストを3個設置し、生ごみは出さない。ゴミ袋は1か月に1枚程度で済む。</li> <li>・ゴーヤを2ヶ所、アサガオを1ヶ所植えて、夏場のグリーンカーテンとしても活用している。</li> <li>・資源として再利用できる新聞紙等の紙類、ダンボール、ペットボトル、食品トレイ等は、回収ボックスのあるところを持っていく。</li> <li>・マイバッグを常に持参し、レジ袋はもらわない。</li> <li>・洗剤、シャンプー等の容器は再利用している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月河川敷の清掃活動</li> </ul>

#### 4 県・市町村・福岡県地球温暖化防止活動推進センターに対する意見

・エコファミリー加入への勧誘について、温暖化に関する十分な説明時間や、相手の意識を知る会話の時間がとれないまま、結局、景品や表彰など、エコの意識とは関係ないところでお願いすることもありました。エコファミリーの取組み自体はいいことかと思いますが、今後、個人情報に敏感な若い世代を相手にするとき、警戒されないだけの説得方法、レクチャーに力・時間を費やす必要が生じてくるかと思います。

・推進員の方々は、皆、熱意をもって献身的に活動しておられ、素晴らしいことだと思います。ただ年齢層は偏っているとも思います。なかなか難しいことかもしれませんが、若い世代、子育て中のお母さん方などご意見を聞ける機会があれば、あらゆる視点で問題を考えていけるのではという気がします。

・また、温暖化に関する小冊子、クールチョイスのパンフレットなど、いい印刷物をたくさん作っておられます。とても勉強になります。渡して終わりではなく、これをテキストにお話をしていく出張講義など、もっと活用できたらいいと思います。

・体調の問題でイベント等にはあまり参加できなかったので、次年度はできるだけ活動を増やしていきたいと思っています。

・推進員は各市町村にいますが、名前ばかりで活動にあまり参加しない方がいるので、推進員を選ぶ際にひと工夫していただきたいです。

・仕事をしているので、年間予定や県内市町村の行事などわかり次第教えていただけるとありがたいです。

・地区全体で活動できるようなイベントの実施(エコスタいいづかの参加)

・会議を、飯塚市だけでなく、直方、宮若、鞍手、田川、小竹などで開催し出来るだけ多くの参加者を募る(例えば、会議の後に研修会や勉強会、見学会などを実施する)

・町職員なので平日の参加が難しい

・町議会の議場の空調を省エネで対応する必要があると思う

・マイクロプラスチックの情報は大いに役に立ちました。しかし、特に郊外地区でのビニール袋やペットボトル等のごみが未だかなり多いようです。罰則を強化すると共に買い物ビニール袋等の規制を強化してもらいたい。県条例でも強化できないでしょうか？デポジット制も未だ確立してないようです。

・また、一番最近感じるのは放射能汚染の問題です。福島では未だ除染が進まず、膨大な汚染水の処理が全くできず、ついに海に放水することになりました。それも現在ではどうしようもないことで何十年何百年の長さになりそうです。汚染土もついに当地に埋め立てるみたいですし、原子炉の底に流れ出した原子燃料もどうして取り出すかの技術も確立してない状況ですが、各地区の原発は適時稼働させるとのことです。そうして太陽光発電での電力買い入れ価格は下げられていくばかり、この流れはどうしても理解できません。